

# 品質工学の果たすべき役割を探る

田口 玄一博士 (1924-2012)



1924年 新潟県生まれ  
1942年 桐生高等工業学校(群馬県)紡織別科を卒業  
1962年 理学博士(九州大学)  
その後、文部省統計数理研究所、日本電信電話公社電気通信研究所、インド統計学研究所、プリンストン大学などの研究員ならびに客員教授、青山学院大学教授などを歴任。  
米国ベル電信電話研究所にてタグメソッドを活用し、成果を挙げる。その後、米ゼロックス、AT&T、ITT、さらには米フォード、GMをはじめとする米国自動車産業の品質向上に大きく貢献し、「アメリカを蘇らせた男」と称される。

1980年 アメリカンサプライヤーインスティテュート(AASI)エグゼクティブディレクターに就任  
品質工学フォーラム会長に就任  
1993年 (株)オーケン社長、(財)日本規格協会参与に就任  
1994年 品質工学会名誉会長  
1998年 品質工学会名誉会員  
1998年 米国品質学会(ASQ)名誉会員  
1998年 米国機械学会(ASME)名誉会員  
2012年 没。享年88歳。

◆ 主な表彰

デミング賞品質管理文献賞(日本、1954年)  
デミング賞本賞(日本、1960年)  
国際技術協会ロックウェルメダル(米国、1986年)  
国際科学技術殿堂入り(米国、1988年)  
藍綬褒章受賞(日本、1989年)  
米国オートマーション殿堂入り(米国、1993年)  
友誼賞(中国、1994年)  
ASQCシユーハートメダル(米国、1996年)  
米国自動車の殿堂入り(米国、1997年)  
米国生産技術協会(SMB)アルパートM.サージェント・プログレス賞(米国、1998年)  
20世紀の品質チャンピオン賞(スイス、2000年)など多数

◆ 主な著書

実験計画法 上巻(丸善、1958年)  
技術開発のための品質工学(日本規格協会、1994年)  
技術開発のマネジメント(日本規格協会、1996年)  
品質工学講座(1)~(7)(刊行委員長)(1988-1990)  
タグメソッド - その発展の流れをたどる(共著)(産能大学出版部、1991年)  
タグメソッド わが発想法(経済界、1999年)  
品質工学の数理(日本規格協会、1999年)  
品質工学応用講座 全7巻(刊行委員長)(日本規格協会、1992-2004年)  
研究開発の戦略(日本規格協会、2005年)  
品質工学便覧(監修)(日刊工業新聞社、2007年)などほか多数

## 第5回品質工学技術戦略研究発表大会

### 「品質工学会—20年のまとめとこれから—」

発表予定テーマ  
・品質工学研究の変遷と発展(2)  
・技術フォーカスと知識構造に関する研究  
・診療教育研究分野でのMTシステムを用いた  
・金属材料評価方法の検討  
・街づくりにおけるMTシステム活用の可能性  
・田口玄一名誉会長の教え  
・社内展開の検証

毎年6月に開催される品質工学研究発表大会は、各技術分野での品質工学の活用を展開を議論する場として、既に20回の開催を重ねています。しかしながら、故田口玄一名誉会長が主張してきた「品質工学を技術戦略と位置づけての展開」はまだこれまで、さまざまな角度からの研究発表と議論を進めています。今年の11月に予定されている第5回大会でも、品質工学と技術戦略に関する6件の研究発表を予定しています。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

11月16日(金) 東京・永田町  
星陵会館ホールで開催

## 品質工学会に入会して

# 技術革新競争に勝ち抜こう!

### 品質工学会は

- 製品開発力を大幅に向上させます。
- 開発期間の大幅短縮、高品質・低コスト製品の開発、高生産性の確保
- 工場の生産合理化問題も解決します。
- 工程管理・検査の合理化、コストと品質の合理化・最適化
- 幅広い技術分野に応用可能です。
- 機械技術、加工技術、画像形成、電気・半導体、化学反応制御、計測技術など
- 工業分野以外の分野にも応用されています。
- 医療診断、業績予測、パターン認識など、予測・診断・評価問題の解決

### 賛助会員募集中

賛助会員は、企業・団体の組織単位で品質工学会に入会できる制度です。

### 品質工学会の賛助会員企業・団体

[50音順]

(株)IHI / いすゞ自動車(株) / カルソニックカンセイ(株) / キヤタピラージャパン(株) / キヤノン(株) / コニカミノルタオブティクス(株) / コニカミノルタテクノロジーセンター(株) / (株)小松製作所 / サイバネットシステム(株) / セイコーエプソン(株) / (株)ツムラ / デンソー・テクノ(株) / 日東電工(株) / (財)日本規格協会 / 東日本旅客鉄道(株) / (株)不二越 / 富士ゼロックス(株) / 富士ゼロックスアドバンテクノロジー(株) / 富士ゼロックススマニュファクチャリング(株) / 富士通(株) / 富士フイルム(株) / 古河電気工業(株) / (株)松浦機械製作所 / マツダ(株) / 三菱自動車工業(株) / 三菱重工業(株)

2012年7月12日現在

詳しくは学会HPまたは学会事務局まで  
<http://www.qes.gr.jp/>

## 品質工学会

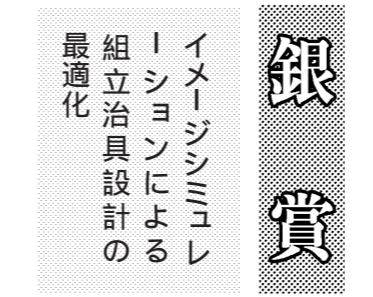
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-19-1 九段インテリジェントビル7階 TEL.03-6268-9355 FAX.03-6268-9350

## 公益財団法人精密測定技術振興財團品質工学賞 発表賞 受賞研究紹介



イメージシミュレーションによる組立治具設計の最適化

ムは皆無である。



上杉一夫氏(写真) / アルブ  
ス電気 / 菅野睦子氏(同)  
大塚祐二氏(同)



中垣保孝氏(写真) / 二力ミノルタオブティクス(株) / 谷尻靖氏  
ITのコーディネート例にして

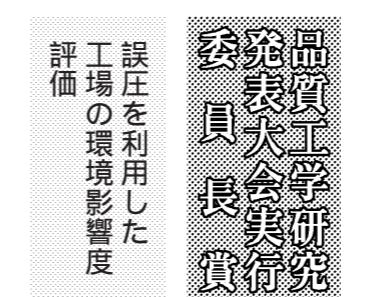


卓也氏(同) / 清水佳恵氏(同) / 丹内修氏(同) / 三浦雅範氏(同) / 高木俊雄氏(同) / 田村希志氏(同) / センターミノルタテクノロジーズ(株)



誤差を利用した工場の環境影響度

みである。



生駒亮久氏(KYB)  
近年、環境保護や省エネルギーへの意識が高まる中で、これからの工場は単に生産性だけではなく、一酸化炭素(CO<sub>2</sub>)や産業廃棄物の排出といった、近隣環境や社会への影響度の観点を含めて総合的に評価される必要がある。



犬塚佑樹氏(写真) / 二力ミノルタテクノロジーズ(株)  
品質開発・生産技術のコラボレーションによる塑性加工技術開発の効率化

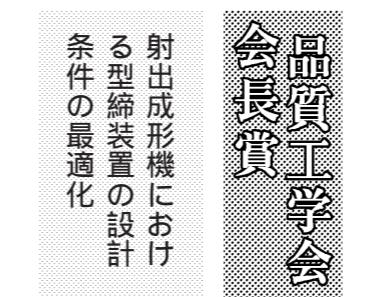


ト、横山武史氏(同) / ノルタエムジー、中川博行氏(同) / 高木俊雄氏(同) / カミノルタテクノロジーセンターミノルタビジネス(株)



射出成形機における型締装置の設計条件の最適化

めである。



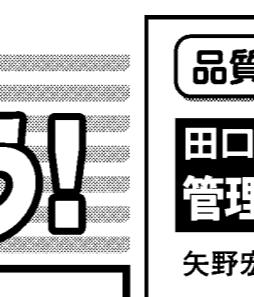
常田聰氏(写真) / 日精樹脂工業(株)  
脂工業 / 依田秀伸氏(同) / 山口勇氏(同) / 吉原岳男氏(同) / 牛丸俊氏(同) / 高橋信介氏(同) / (日)精樹脂工業



山岡誠司氏(写真) / 広島市産業振興センター / 桑原修氏(同) / (広島市工業技術センター)

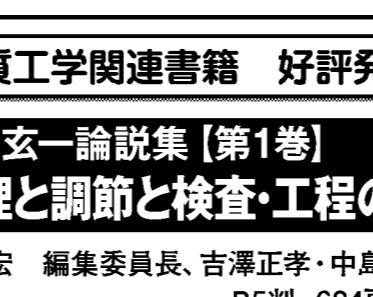


水道水における残留塩素測定試薬の評価



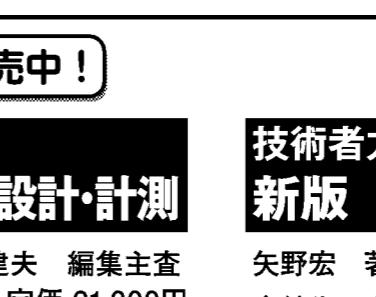
田口玄一論説集【第1巻】  
管理と調節と検査・工程の設計・計測

矢野宏



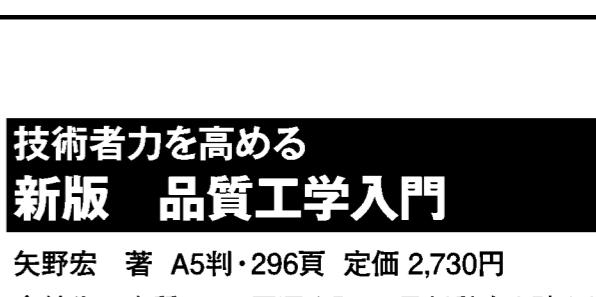
田口玄一論説集【第4巻】  
MTシステム・音響・通信と画像・人間の識別力とスポーツ

矢野宏



田口玄一論説集【第1巻】  
管理と調節と検査・工程の設計・計測

矢野宏



技術者力を高める  
新版 品質工学入門

矢野宏

### 品質工学関連セミナー 好評開催中!

#### 田口玄一論説集【第1巻】

#### 管理と調節と検査・工程の設計・計測

矢野宏 編集委員長、吉澤正孝・中島建夫 編集主査  
B5判・624頁 定価 21,000円

◆ 製造段階での品質管理に該当する論説をまとめ、オンライン品質工学の原点に迫る!

#### 田口玄一論説集【第4巻】

#### MTシステム・音響・通信と画像・人間の識別力とスポーツ

矢野宏 編集委員長、矢野耕也・鶴下隆志 編集主査  
B5判・500頁 定価 21,000円

◆ 品質特性の機能と機能性評価の方法を対象に、MTシステム・標準SN比などの新しい展開を学ぶ!

### 品質工学関連セミナー 好評開催中!

#### 品質工学 第5回 基礎コース(4日間)

● 開催日程: 8月30日(木)・31日(金)・9月11日(火)・12日(水) 東京

#### 品質工学セミナー やさしいMTシステム入門コース

● 開催日程: 9月10日(月) 東京

#### 品質工学入門コース(2日間)

● 開催日程: 9月24日(月)・25日(火) 東京

### 技術者の意地 一読むだけでわかる品質工学

長谷部光雄 著 四六判・288頁 定価 1,680円

◆ 架空の中堅企業を舞台に、技術者たちが品質問題を解決するため品質工学に取り組もうとする物語。



### JSA一般財団法人 日本規格協会

〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24  
TEL 03-3583-8002 FAX 03-3583-0462

<http://www.jsa.or.jp>